

病院

特別セミナー in 金沢医科大学病院 「女性の健康」

日時：平成23年3月2日(水)午後3時

場所：病院新館12階大会議室

金沢医科大学病院21世紀集学的医療センターの女性総合医療センターでは、国が定める女性の健康週間に特別セミナーを企画した。「女性が健康で生き生きと輝き続けるために何が必要か？女性の元気は社会の元気」をテーマとして開催された。

第一部は、川上重彦病院長の挨拶の後、女性総合医療センターの赤澤純代講師の司会により行われた。講演は産婦人科学の笹川寿之准教授による「子宮頸がんは予防できる」、財団法人日本対がん協会小西宏広報部長による「子宮頸がんの予防ワクチン接種と検診率の現状報告」であった。リラックスタイムには元モデルでウォーキングスタイリストの山本敬子先生より、ポジティブスマイルと若々しい姿勢の作り方について実技も交えた指導をしていただいた。その他新たな試みとして石川県で活躍されている女性の団体にも参加していただき、レディースベンチャークラブからは安

藤喜代子副会長、国際ゾントクラブ金沢クラブからは坂矢ひろみ会長、国際ソロプチミストークろゆりーからは新保洋子会長がそれぞれの活動の紹介を行った。さらに、女性起業家交流会 in Hokurikuからは萩原扶未子代表が起業したい人の交流の場や女性が輝くためのワークライフバランスについて、加賀市各種団体女性連絡協議会からは南出貞子会長が、男女参画活動やコーチングの大切さと、パープルリボン活動について紹介した。

第二部は、耳鼻咽喉科学の鈴鹿有子教授の司会により行われ、はじめに、山下公一理事長が挨拶を行った。講演は、日本における性差医療の第一人者であるNPO法人性差医療情報ネットワーク理事長の天野恵子先生により「女性の一生と健康課題」と題して行われた。女性の健康の大切さや性差による男性と女性の病気の違いおよび治療の違いなどを端的かつ明確に話された。女性外来こそ少子高齢化社会に求められる総合診療のモデルであり、女性医師の活躍が日本の医療を変えていくという素晴らしい内容であった。総括は、21世紀集学的医療センター長の松井 忍教授が行いセミナーを終了した。

(女性総合医療センター 赤澤純代記)



セミナーを終えて。講師、後援企業の方々と